

正しく、楽しく着こなす

ほめられ 着物手帳



しらいし美容室
CALMO mITE
SHIRAISHI

当日までに準備するもの

- 肌襦袢・裾よけ
(またはランジェリー)
- 足袋
- 薄手のタオル 4~6枚
(あれば補整着)
- 衿芯
- コーリンベルト 2本
- 腰紐 5~6本
- 伊達締め 2本
- 帯板 2枚
- 帯枕
- 三重紐
- 着物
- 伊達衿
- 長襦袢
(半衿を付けておきましょう)
- 袋帯
- 帯揚げ
- 帯締め
- 髮飾り
- 草履、バッグ
- 履いてきた靴を入れる袋
- 着てきた服を入れる袋
(風呂敷)

point

- ・ヘアメイク後に着付けを行うので前開きの服を着ていきましょう。
- ・ピアスやイヤリングは上品に見える小粒の宝石類が◎
- ・時計や指輪は振袖を傷つてしまふこともあるので、細心の注意を!



しらいし美容室
CALMO mITE
SHIRAISHI

香川県木田郡三木町平木440-3
087-898-5512

定休日: 毎週月曜日・第1・3日曜日
営業時間: AM9:00 ~ PM6:00

<https://www.shiraishi-salon.com>

着くずれの直し方



衿元が乱れたときは...

上前の衿は、衿元を抑えて右の脇側に軽く引きます。下前の衿の場合は脇の身八つ口から左手を入れ衿をつまんで軽く引けば直ります。



おはしょりがたるんときは...

出すすぎたおはしょりは帯の下に入れ込みます。シワが気になる場合は、帯と着物の間に指を入れ左右に動かし余分なたるみを脇へ流し整えます。



帯が下がったときは...

目立たないよう背中側の帯の下部分と着物との間に畳んだ小さなタオルなどを差し込み、緩んだ隙間を調整しましょう。

覚えておきたいトラブル対策

～お手洗い～(クリップ2つ使用)



01

左右の袖を重ねて袖の中央部分と帯を一緒に2つのクリップで留めます。



02

着物、長襦袢、裾よけの順に裾をまくり上げ、01の袖と一緒にクリップで帯に留めます。終わったら丁寧に下ろし、整えます。

03

帯がめくれ上がってないか、おはしょりが乱れていないか確認します。
※手を洗う時は着物を濡らさないように気をつけましょう。



～車の乗り降り～

袖を持ってお尻から乗ります。体を90度回転させて正面を向きます。
降りるときは逆の順序で、回転して足から下ろします。

NG!

- ・帯がつぶれてしまうので、背もたれにはもたれない！
- ・車に頭から先に乗るのは、ヘアーやがつぶれる、裾がはだける原因に！

歩き方

歩くときには背筋を伸ばして、小さめの歩幅と少し内股でおしとやかに。

階段

両袖をまとめて左手にかけます。右手で上前を持ち上げれば歩きやすく、着崩れもしにくくなります。

NG!

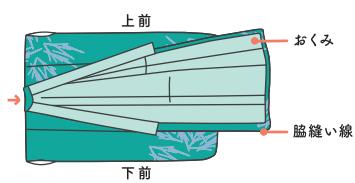
- ・履物を引きずったり、ガニ股にならないように！
- ・特に階段は大股で上ると足首まで見えてしまい着崩れの原因に！！



アフターケアも大切に！着物のたたみ方

着物

型崩れしないように和装ハンガーにかけ、風通しのよい所で陰干しして湿気をとりましょう。



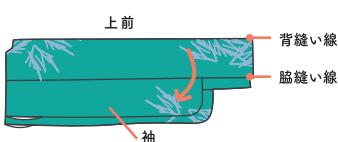
01

衿を左、裾を右にして振袖を広げ、下前の脇縫い線に沿って内側に折ります。下前をおくみ線に沿って手前に折り返し、衿を内側に折っておきます。



02

上前を持って衿のラインを合わせ折り返した下前の上に裾まで重ね揃えます。



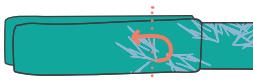
03

上前の脇縫い部分を持って下前の脇縫いに重ね、両袖も重ねます。



04

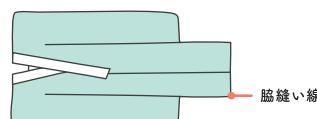
左の袖を袖付けで折り返します。



05

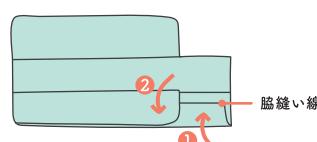
右の袖も袖付けから裏側に折り返します。全体を半分に折り完了。

長襦袢



01

衿を左、裾を右にして長襦袢を広げ脇縫い線に合わせて下前、上前の順に重ねます。



02

下前の脇縫い線と長襦袢の中心が合うように内側に折り、袖を手前に折り返します。



03

上前も同様に折り返し、全体を2つ折りにしたら完了。

袋帯



01

柄じまいが内側になるように3分の1か4分の1の長さに折ります。



02

さらに半分に折り完了。